

2024 年 7 月 19 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：災害モンスター研究所 石橋 健次
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - ~~A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア~~
 - B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：たたかえ鉄人 28 号！遠隔音声操作で競うロボットコンテスト
4. アイディアの概要（200 字以内）：

多くの人気を集めるロボコンの新ジャンルとして「アマチュア無線による遠隔音声操作限定コンテスト」を企画。昨今 AI による音声認識・操作は加速度的に進化しました。この技術により長年の謎であった鉄人 28 号のビジョンコントローラーによる操作は実はダミーで実際は音声操作であることが判明しました。そう、いまこそあのアニメを見て胸を焦がしたあの戦いを再現しましょう！

力強く叫ぶのです「たたかえ鉄人 28 号！」
5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：

アマチュア無線愛好家の減少がみられる一方で若者を中心に「[ロボットコンテスト](#)」は多くの人気を集め、日本全国・世界各国で多数のコンテストが開催され、コンテストの様子がメディアによる魅力的に発信され多くの注目を集めています。

同コンテストに関心・参加を持つユーザー層は、アマチュア無線との親和性が特に高い人材であるため、同コンテストの新たな競技部門として「アマチュア無線による遠隔音声操作」を立ち上げることでロボコン関係人口にアマチュア無線の魅力を効果的に周知するとともに、同競技部門参加条件としてのアマチュア無線資格取得を強烈に推進することが可能となります。

当該部門で好成績を上げるには昨今の急激な進化がみられる AI による音声認識機能を有効活用する必要があり、AI 研究に対する関心・注目が集まりやすい現在の社会のトレンドからも当該企画は幅広く社会に発信され耳目を集めることが期待されます。

なお、[A I・ChatGPT を活用し、音声操作で格闘ゲーム「ストリートファイター」をプレイする研究](#)を津田塾大学の栗原教授が 2023 年に発表されており技術的課題は既に解消されております。なお同教授は 2012 年に「[人の発話を遠隔から阻害する装置「SpeechJammer」](#)でイグノーベル賞を受賞した経歴の持ち主であり、同技術の利用もメディアからの注目を集めることが期待されます。

さらに当該企画のアイコンとなる「鉄人 28 号」は漫画・アニメの人気作品として幅広い年代に認知されており、現在でも高い人気を誇っています。

同ロボットは少年探偵・金田正太郎が「ビジョンコントローラー」と呼ばれる無線の装置で縦横無尽に操作しており、その魅力に胸を焦がした子供（現在は大人・老人）は多いはずです。鉄人 28 号は若者から高齢者までを共通話題で結び付けることができる無線で操縦されるロボットとして、アマチュア無線の幅広い認知向上に寄与することが期待されます。

以上、今回の提案ですが「アマチュア無線の魅力を向上するアイデア」の募集を知ったのがつい先日のため、企画書を作成する時間が十分になく中途半端な内容となってしまいました。もし当該提案に魅力を感じていただければハムフェア 2024 までに更にビジュアル的な資料なども補完いたしますのでご検討ください。

当方も小学生の時にアマチュア無線の免許を取り、高校ではアマチュア無線クラブに一時所属し、発電機と無線を背負って山頂に泊まってコンテストに参加したことを懐かしく思い出しました。30 年近くアマチュア無線から離れておりましたが、当該企画をキッカケに改めて楽しみたいと思いました。素敵な企画をありがとうございます。

6. 参考情報（任意）

- ・参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
- ・Web 情報：タイトル、URL

[ロボットコンテスト一覧 - 一般社団法人 次世代ロボットエンジニア支援機構 \(scramble-robot.org\)](#)

[ChatGPT 格ゲープロジェクト | ProtoPedia](#)